

# 3 市の人たちのくらしのうつりかわり

## 1 古い道具調べ

身のまわりの  
古い道具を  
さがして  
みましょう。

### 古い道具をさがそう

自分の家や近所きんじよの家から、昔むかしのことがわかるものをさがして、調べてみることにしました。



火ばち



わらじ



はがま



きねとうす



七輪

昔むかしの道具から、昔むかしの人たちのくらしのようすについても調べてみましょう。

むかし  
昔と今のくらしをくらべてみよう

古い道具が使われていたころのくらしのようすを調べてみましょう。

実に<sup>むかし</sup>に昔の道具を使ってみて、今のものとのちがいをくらべたりそれを使っていた昔の人たちの気持ちを考えたりしてみましょう。



せんたく板

ぎざぎざしている  
ところでよごれが  
おちたわ。  
よくできているなあ。



ほかにも、いろいろなものが  
かわってきているね。  
もっと調べてみたいな。



むかし  
昔のせんたくは、いどから水をくみ上げ、たらいに入れてからせんたく板でごしごしあらったのよ。よごれがひどいところは、石けんを使って何度もこすったものよ。寒い冬は冷たい水を使ってのしごとだったので、とてもたいへんだったのよ。



火のし



すみび  
炭火アイロン

くらしのうつり  
かわりを調べて、  
絵や年表などに  
まとめてみましょう。

## くらしのうつりかわりを調べてみよう

家の人や近所きんじの人から聞いたことや、自分で調べたことをもとにして、くらしのうつりかわりをまとめてみましょう。



おばあさんの  
子どものころのくらし  
について聞いてみよう。

お母さんやお父さんは  
子どものころ、どんな  
遊びをしていたのかな。



乗り物のことも  
調べてみたいな。



学校にも昔むかしの道具が  
おいてある部屋があったよ。  
それに、図書館でも調べられ  
そうだね。



小田原城の近くに  
きょう土文化館があるよ。  
古い道具がたくさんあるらしいよ。  
今度行ってみたいな。



## 小田原市きょう土文化館



### 行ってみよう



小田原市きょう土文化館は、小田原城の近くにあります。昔の道具やくらしのほかにも、小田原の歴史や自然のことも知ることができます。

## 80年から120年くらい前の 小田原のようすと暮らし

80年から120年  
ほど前の暮らしを  
調べてみましょう。

### きょう土文化館の人の話

このころは、町の中に田や畑がたくさんありました。今よりも農家が多く、食べものも着るものも自分の家で作っていました。今のようなきかいがなかったので、牛や馬を使って田畑をたがやしたり、田うえなどのたいへんなさぎょうは家族や近所のひとたちなどみんなで力を合わせておこなったりしていました。

子どもたちは、田や川、山などで魚や虫、鳥などをとってあそんでいました。ほかにまわりつきであそんだり、下の子の子守りをしたりもしていました。

小田原の町には電とうがつき、馬車鉄道からかわって電気鉄道が走りました。1920年には東海道線がのびて、小田原駅ができました。町の人たちは駅ができたおいおいをせい大にしたそうです。駅前には、お店や旅館がたちはじめてにぎやかになりました。パンやキャラメル、洋服などのめずらしいものも手に入るようになったそうです。



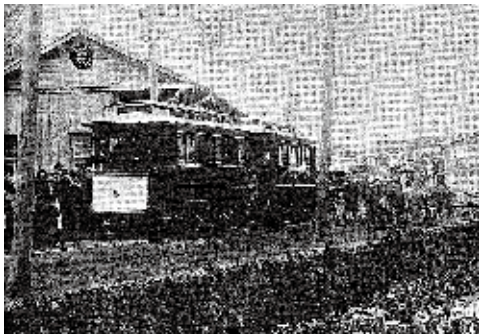
▲農作業では、馬の力を使っていた



▲田植えのようす



◀大人たちが働いている間、赤ちゃんの世話は子どもの仕事だった



▲電気鉄道が走り始めた



▲当時の小田原駅のようす

今から80年ほど前に、大きなせんそうがありました。小田原も空しゅうにあい、多くの人たちがひ害を受け、たいへんな生活をおくりました。



### 地いきのおばあさんの話

せんそうがはげしくなると、食べ物も生活にひつようなものも十分に手に入らなくなりました。そこで、学校の運動場を畑にしてさつまいもなどを作りましたが、それでも十分に食べることができませんでした。勉強よりも食べ物を作ったり、働いたりすることのほうが、大事に考えられていました。また、小田原もせんそうが終わる直前に空しゅうにあいました。ばくだんは学校の校庭にも落とされました。

この空しゅうで400戸くらいの家がやかれてしまいました。

みんな1日1日をせいっぱい生きていました。今のように、毎日が平和なことは、とても幸せなことだと思います。



空しゅうのあと



はたらく学生

### せんそうの時代を今も伝えるもの

小田原のまちには、せんそうのおそろしさを今もわたしたちに教えてくれるものが残っています。そのひとつが市内にある機銃の弾のあとがのこる旧青橋（小田原城の西がわの東海道線などの線路の上にかかる橋）の橋げたです。鉄でできた橋げたをかんたんにつらぬいているようすはせんそうのおそろしさを今も伝えています。

みなさんの地いきにも、ぼうくうごうのあとや石碑などせんそうの時代を伝えるものがあるかもしれません。



## 40年前から70年くらい前の 小田原のようすとくらし

40年まえから70年  
くらい前のくらしを  
調べてみましょう。

### 70年くらい前の小田原のようすとくらし



#### おじいさんの話

せんそうが終わり、生活をよりよくしようと、当時の人たちは、一生けん命にはたらいたんだ。

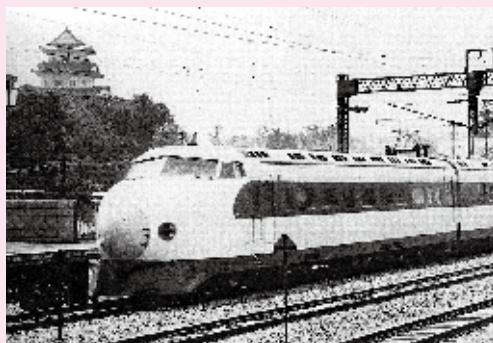
そのおかげで、人々のくらしは豊かゆたになってきたんだよ。

小田原にも大きな工場がたてられるようになって、しごとのために小田原にひっこしてくる人もふえたんだ。

それから、昭和39年(1964年)になると、新かん線が通って、小田原にも停車するようになったよ。たくさんの人が小田原に集まるようになったんだよ。

そのころの子どもたちは、外で遊ぶことが多かったなあ。野球をしたり、メンコやベーゴマで遊んだり、近所の子どもたちが、みんないっしょに遊んでいたものだよ。

電気せい品がくらしの中に出てきて、カラーテレビを初めて見たときはびっくりしたなあ。



### 40年くらい前の小田原のようすとくらし

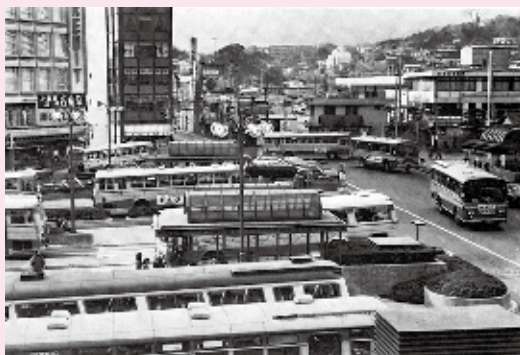


#### お父さんの話

子どもの遊びにもきかいで作られたものがふえてきて、コンピューターゲームがはやって、むちゅうになって遊んだなあ。昔よりも家の中で遊ぶことが多くなったか

もしれないね。

小田原のまちでは、小田原駅の東口がせいびされて、小田原地下街もできて、多くのお店やお客さんで駅のまわりはとてものにぎわっていたよ。



## 2

地いきの人びとが受けついできた文化財ざいと年中行事

わたしたちのまちの「たからもの」は、どのようにして守られてきたのでしょうか。

地いきの「たからもの」を大切にする人たち

お祭りで聞こえてくる「おはやし」は、市内のさまざまな地区で受けつがれています。

多古地区たご（足柄あしがら小学校学区）でも、「小田原ばやし多古ほぞん会たご」の人びとが、おはやしを大切に守り続けてきました。



わたしたちの地区では、どんなお祭りがあるのかな。



おはやしは、お祭りの山車だしの上でも、えんそうされていたよ。





ふえの音をじょうずに出すのは、むずかしそうだね。

た こ こう ぶん かん  
多古公民館では、月に3回ほど小学生や中学生、高校生が集まって、たいこやふえの練習をしています。

えんそうのしかたは、おはやしをえんそうできる大人の方が教えてくれます。ほぞん会の人びとは、地いきのお祭りのほかにも、さまざまなもおしものにさんかしています。



### おはやしを教えている<sup>しもだ</sup>下田さんの話

わたしは、小学生の時にたいこを始めました。おはやしは、地いきの先ばいから習っておぼえました。今は、わたしが教える役です。

練習会では、子どもたちと向かい合っ<sup>たいこ</sup>てたいこのリズムを教えています。たいこがたたけるようになった上学年の子どもには、<sup>ふえ</sup>笛のえんそうもおぼえてもらいます。おはやしをおぼえるには、<sup>ふえ</sup>笛のメロディーが大切なのです。ほぞん会では、大人も子どもも、いっしょになって長い<sup>でんとう</sup>伝統のある「小田原ばやし」を守っています。

人びとの生活が<sup>か</sup>変わってきて、おはやしやお祭りに<sup>たい</sup>対する考え方も、むかしとは<sup>か</sup>変わってきています。これから大人になっていく子どもたちが、地いきで守られてきた「たからもの」に、きょう味をもってくれるとうれしいですね。



### ほぞん会の子どもたちの話

1年生のときから、上の学年のお兄さんお姉さんたちのえんそうを見ながら、たいこのたたき方をおぼえてきました。おはやしは、いろいろな曲があっ<sup>ふえ</sup>て、むずかしいなと思うときもあります。とくに、<sup>ふえ</sup>笛のえんそうをするには、長い<sup>がく</sup>楽譜をおぼえなくては<sup>いけ</sup>ない<sup>ない</sup>ので、たいへんです。

でも、お祭りや大きな発表会で、練習したことがきちんとできると、ほっとします。自分たちのえんそうをたくさんの人にきいてもらえたときには、とてもうれしいです。



わたしたちの住んでいる  
ところでは、どんなもの  
を大切に守り、伝えてき  
たのでしょうか。(行事、  
お祭り、おどりや歌)

市の人たちが守り、伝えてきたもの (一例)<sup>いちれい</sup>

田植え歌 (栢山)<sup>かやま</sup>



小田原ばやし (多古)<sup>たこ</sup>



こんなにたくさん  
あるんだね。

地藏尊大祭 (板橋)<sup>じぞうそんたいさい いたばし</sup>



鹿島おどり (根府川)<sup>かしま ねぶかわ</sup>



だるま市 (飯泉)



かさや しもそが  
傘焼きまつり (下曾我)



ことぶきし しまい しもそが  
寿獅子舞 (下曾我)



さがみ おだけ  
相模人形しばい (小竹)



ぶしやさい おふね  
奉射祭 (小船)



たいりょう き やりうた ひがしちょう  
大漁木遣歌 (東町)



みんなで大切にして、  
これからもずっとつづ  
けていきたいね。



### 3

## これからのまちづくり

安心してらせるまちをつくるためにどんな取組が必要か、いっしょに考えよう。

### 未来の小田原に向けて

小田原市は、だれもが安心してらせるまちをめざして、すんでいる人や、はたらいっている人、学校に通っている人など、地域のみなどと市がいっしょになってまちづくりをしています。

#### 市役所の人の話

##### 小田原市のめざすまちのすがた

“誰も笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと小田原”

小田原市は、子どもからお年よりまで、だれもが安心して、笑顔で暮らし続けることのできるまちをめざしています。「大好きなふるさと小田原!」と思えるまちをつくれます。

##### めざすまちのすがたを実現するための5つのまちづくりの目標

小田原市では、だれもが安心してらせるまちにするための目標を5つたてて、いろいろな取組を進めていきます。

##### ①いのちを大切にする小田原

市民一人ひとりが大切にされ、誰もが自分らしく生き生きとらせるまちをめざします。

##### ②自然環境の恵みがあふれる小田原

これからもずっと自然が豊かで、毎日の暮らしにも自然が感じられるようなまちをめざします。

##### ③未来を拓く人が育ち、地域の絆が結ばれる小田原

みんなが仲良くなつながら、困ったことを助け合いながら自分たちで未来をよくしていく人が育つまちをめざします。

##### ④地域経済が好循環し、多彩な資源が開く小田原

仕事や観光で小田原に来る人をかんげいしながら、昔からの歴史や文化を守ります。働く人も遊びに来る人も笑顔になり、みんなが誇りに思えるまちをめざします。

##### ⑤安心して暮らすことができる小田原

みんなが安心して暮らせるように、まちを便利で安全にしたり、市民の意見を大切にしながら協力して住みやすいまちをめざします。



〈安心してらせるまちをつくるための取組の一部〉



①小田原市立総合医療センター

最新の医療<sup>いりよう</sup>を提供し、地域<sup>まち</sup>のみんなの健康と命を守るために作られた、とても大切な病院です。



②自然を守る取組

地域の身近な自然環境を守るために、市民といっしょになって活動を進めています。



③学校給食<sup>じょうくじつ</sup>の充実

小田原でとれた新鮮な野菜や魚を多く使って、安心・安全な給食<sup>じんせん</sup>を食べられるようにしています。



④食のイベント

小田原で作られた食べ物をみんなに知って・食べてもらうためのイベントをひらいています。食べ物にかかわる仕事をしている人たちを元気にするために、みんなで協力しています。



⑤市民との意見交かん

市民が市長と直接話し合い、まちをもっと良くするためのアイデアを一緒に考えています。



まちづくりの目標にあわせて、いろいろな取組があるのね。



すべての取組が、安心してらせるまちをつくることにつながっているんだよ。